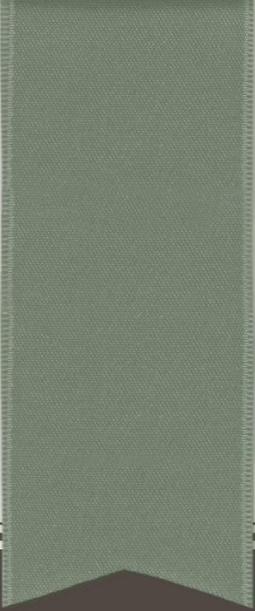


# 交差点編 (優先道路)





---

---

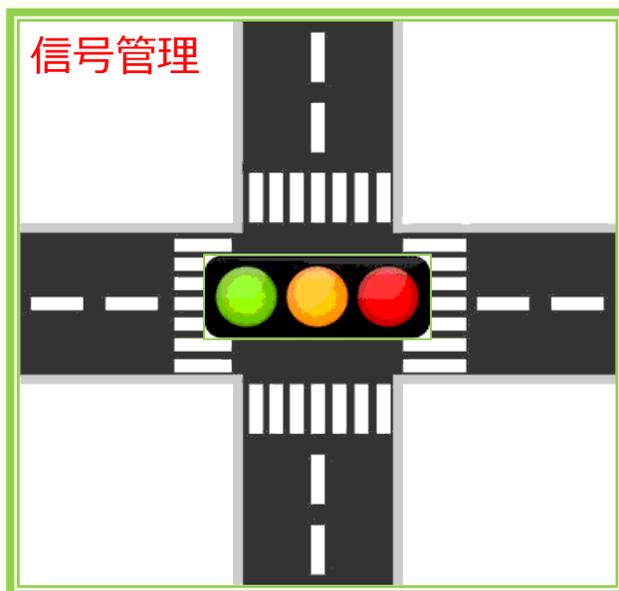
# 優先道路の見極め

---

---

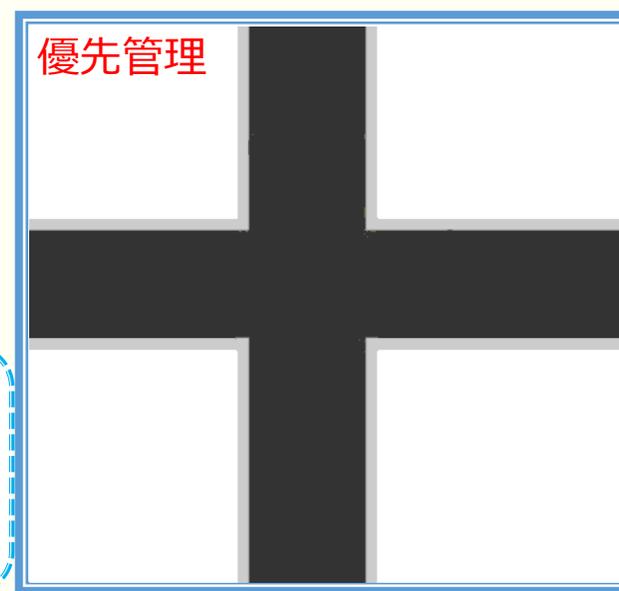
## 交差点～大まかな考え方～

交差点は、構造的に2種類で成り立っています。信号管理交差点と優先管理交差点です。信号は信号に従えば良いと考え、優先管理交差点の優先関係さえ正確に把握してしまえば、走行に必要なルールは、ほぼ全てマスターできてしまいます。



左折時のチェック・対処  
右折時のチェック・対処  
右折交差点の類型

優先道路の見極め  
優先対処  
非・優先対処

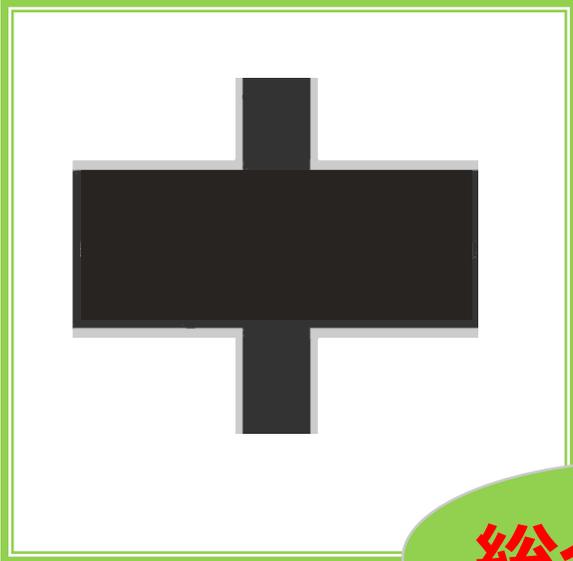


# 優先道路の基本ルール

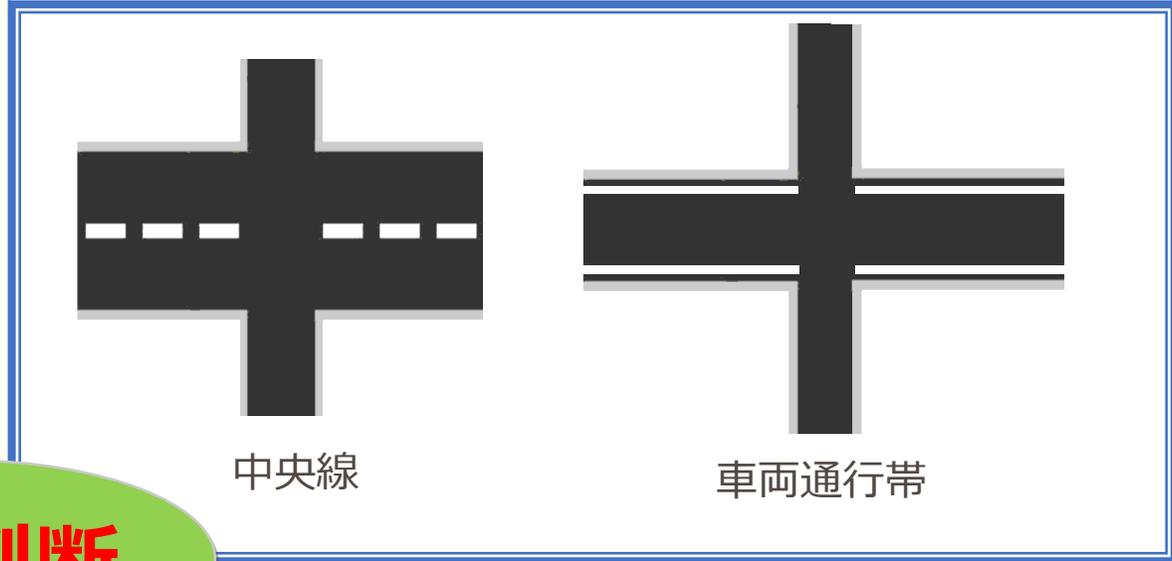
見せる  
説明する

まずは、信号の無い交差点における優先ルールを明確にしましょう。  
優先ルールは下記の通りです。

道幅が広い方が優先です。



線がある方が優先です。



総合判断

## 原理原則だけの判断はとても難しい

見せる  
説明する

しかし、原則論だけで判断するのは、実はとても難しいのです。



相手の道路の方が広い？

相手の道路には線がある？

見えないのに判断出来ますか？

## 一時停止で大きな判断をしていきましょう

「見え難い」「難しい」。だったら「止まれ」を付けてしまえば良い。  
という事で、**ほぼ全ての交差点**で、どちらか一方に「止まれ」が設置されています



**「止まれ」がある → 「非優先」確定**

**「止まれ」が無い → 「ほぼ優先」**

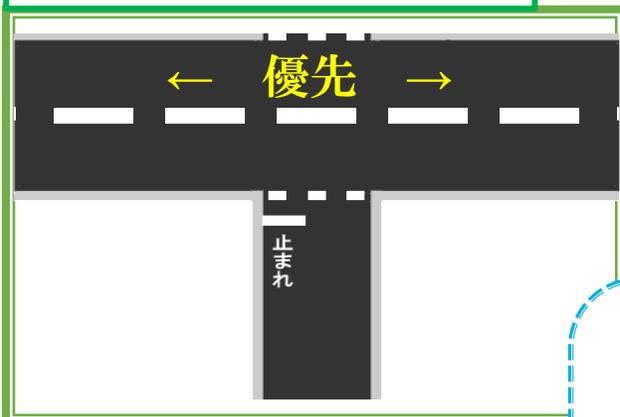
### 【Point】

相手側の道路に「止まれ」と書いてあったら、自分の優先が確定します。

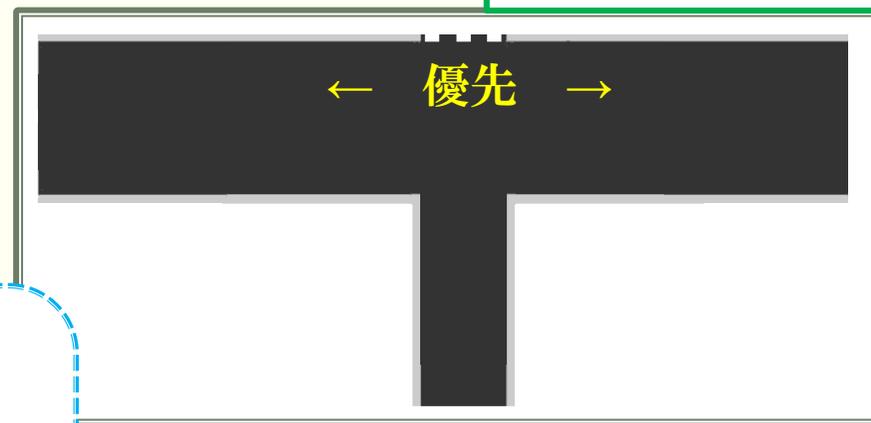
# T字路での優先関係は簡単です

見せる  
説明する

中央線 + 点線 + 停止線



何も書いてない

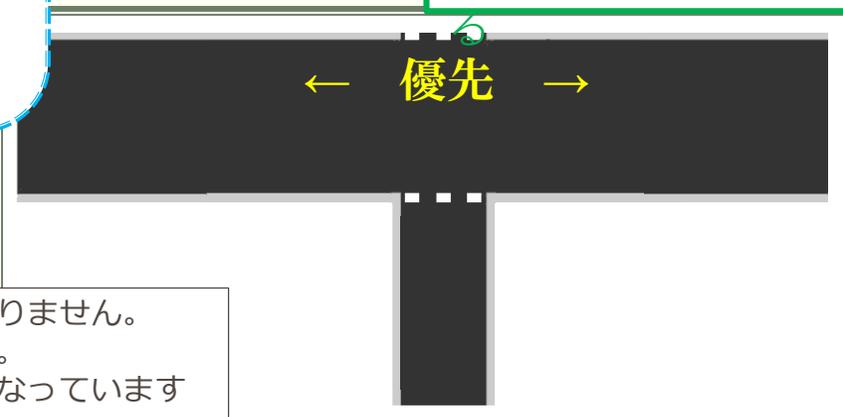


**T字路の解釈は  
全て一緒**

点線 + 停止線



点線だけ書いてあ  
る



※左方優先という解釈が絡むため厳密には正しくはありません。  
しかし、実際には図のルールで世の中は動いています。  
また、左方優先が適用される交差点は非常に限定的になっています

こんなケースは、ほぼ優先です。

適宜使用

9割9分 優先です



自分には停止線がありません。  
相手には停止線があります。

優先確定です



「停止線」 + 「止まれ」の文字の頭が少し  
見えます

こんなケースは優先確定です。

適宜使用

優先確定です



自分には停止線も点線もありません。  
相手には点線があります。

優先確定です



自分には停止線も点線もありません。  
相手には停止線も点線もあります。

# 横断歩道が絡む勘違いケース

適宜使用

優先です



自分に停止線がありますが「止まれ」とは書いていません。  
この停止線の意味は「横断歩行者がいる場合は止まりなさい」となります。

優先です



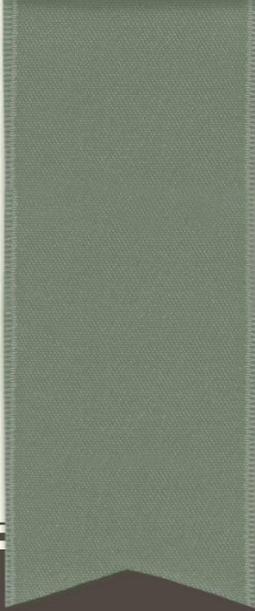
車を降りて  
確認してみよう

# カラー路面の役割

適宜使用



カラー路面には、法律上の明確な規定はありません。  
危険な箇所を周知させる目的で施工されています。



---

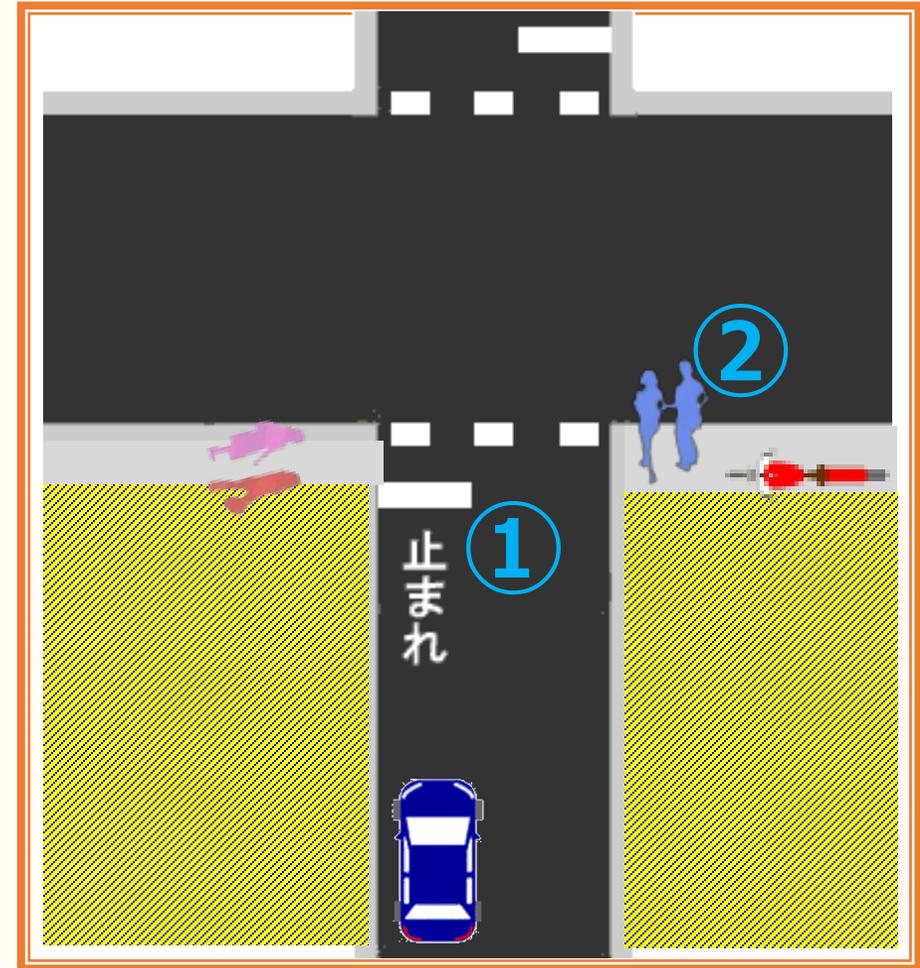
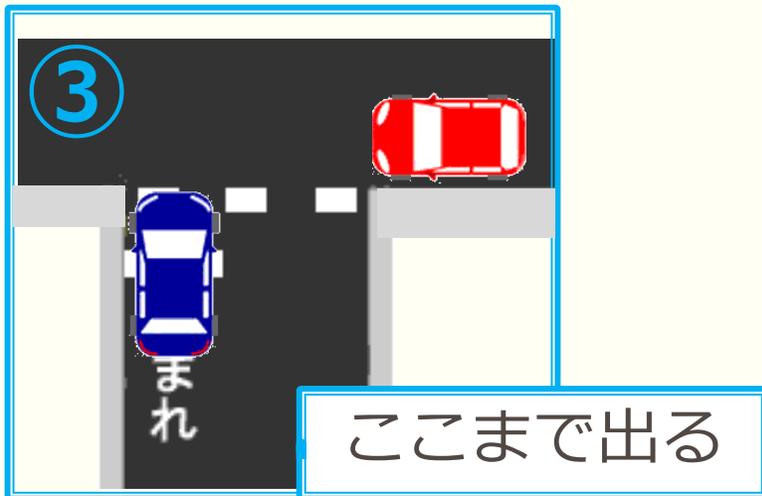
# 非・優先道路での対応

---

# 「止まれ」の手順を3ステップで覚えよう

## 3ステップで覚えよう

- ① 止まる (停止線で止まりましょう)
- ② 首振り (歩行者チェックをしましょう)
- ③ 道路際 (点線まで進みましょう)



# 非・優先道路で安全を守るたった一つのポイント

体験する  
根幹ワード

「非・優先道路」で安全を守るたった1つのポイント

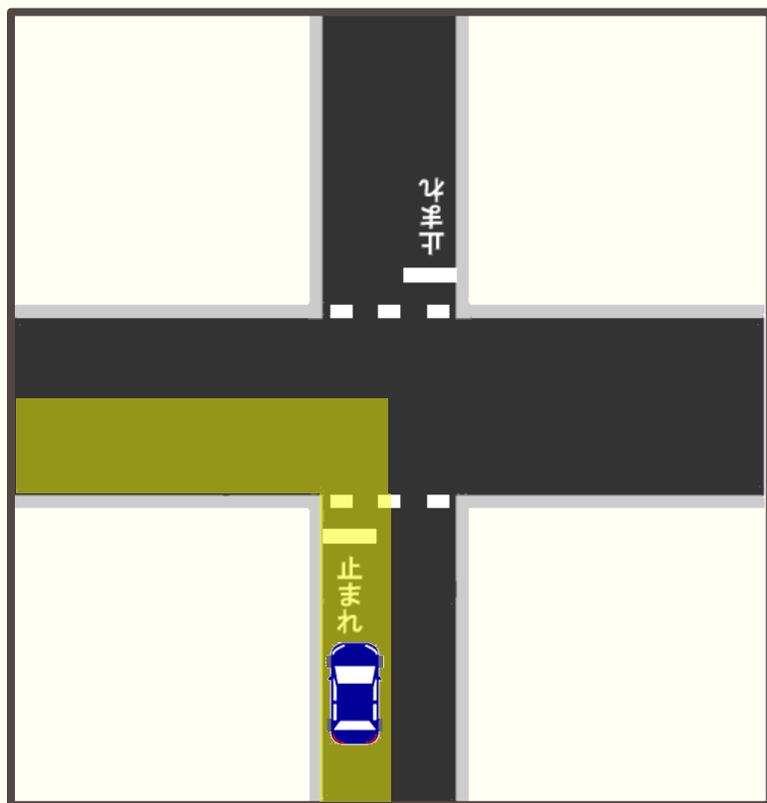
遠くまでチェック出来たら進みましょう



# 複合動作

実践する  
根幹ワード

図の様な交差点で左折する時は、**黄色スペースの範囲内で走行**しなければなりません。その際に極めて重要になる操作が「複合動作」です。



「確認」と「走行ライン」は「両立」させなければいけません。  
不慣れな内は左折する際に膨らんでしまい、**ラインオーバー**をしてしまう傾向にあります。

**確認に気を取られ、確認が終わってからハンドルを回し始めてしまう**ためです。

【根幹ワード】

- ・「回しながら」
- ・「確認しながら」

# 一時停止での接触の順番

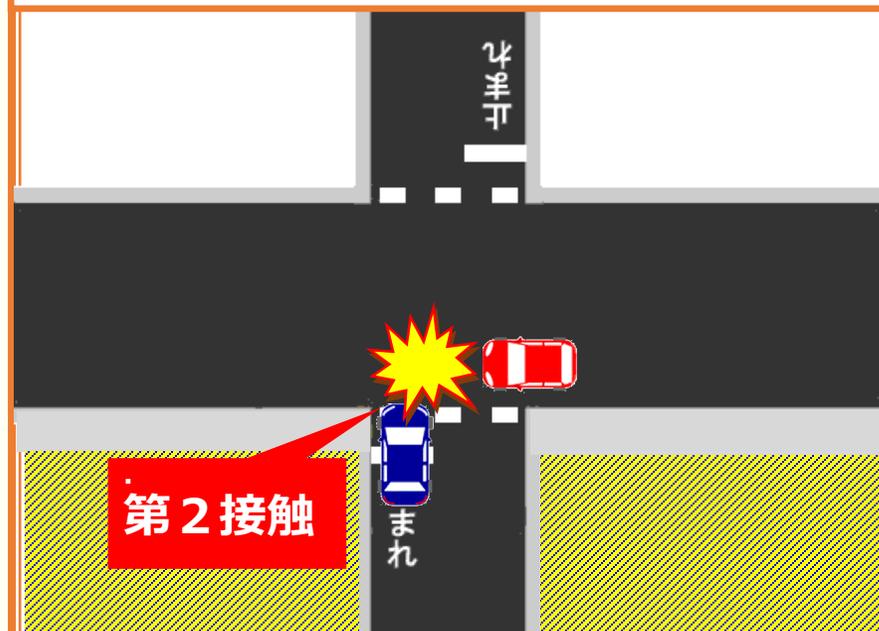
見せる  
説明する

## ①歩道の歩行者や自転車との接触



青車の見落としが主な原因

## ②右方車両との接触

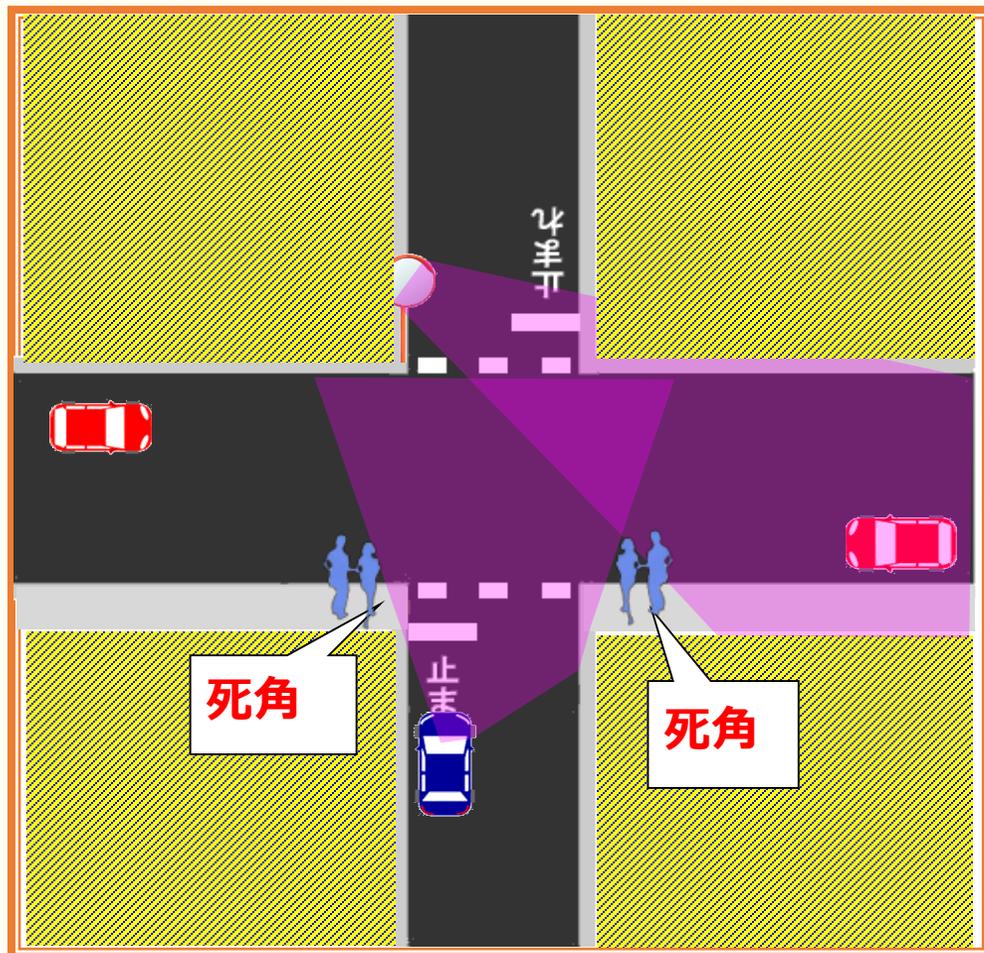


A: 青車のルーズな前進

B: 赤車のスピード超過 (優先過信)

## カーブミラーを活用してみよう

見せる  
説明する

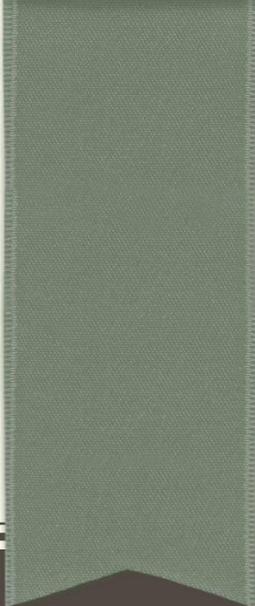


### カーブミラーを活用しよう

正面のカーブミラーをチェックしてみま  
しょう。  
正しい判断を助けてくれます。

### カーブミラーにも死角はあります

カーブミラーにも死角は存在します。  
ミラーは**最初の状況確認**に使いましょう。  
**最終的な安全確認は目視**で行ないます。



---

---

# 優先道路での対応

---

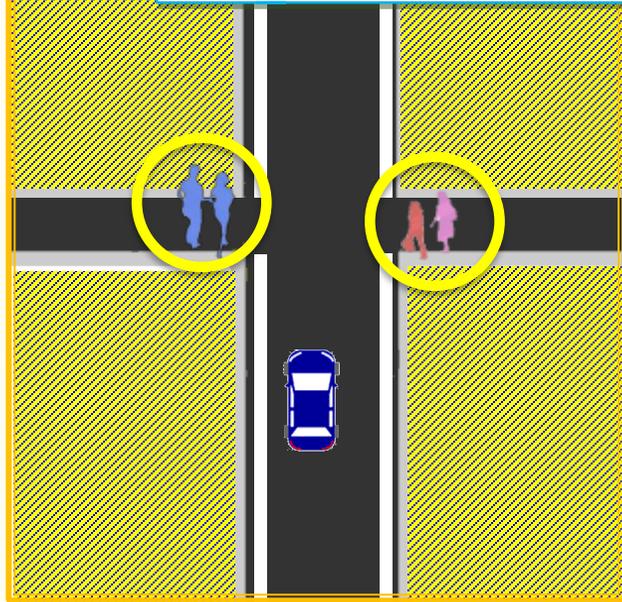
---

# 優先道路での習慣化ポイント

質問して  
チェックする

優先道路では2つのポイントを実践してみましょう。

センターよりを走行してみよう  
両サイドからの飛び出しに対する  
備えになります。



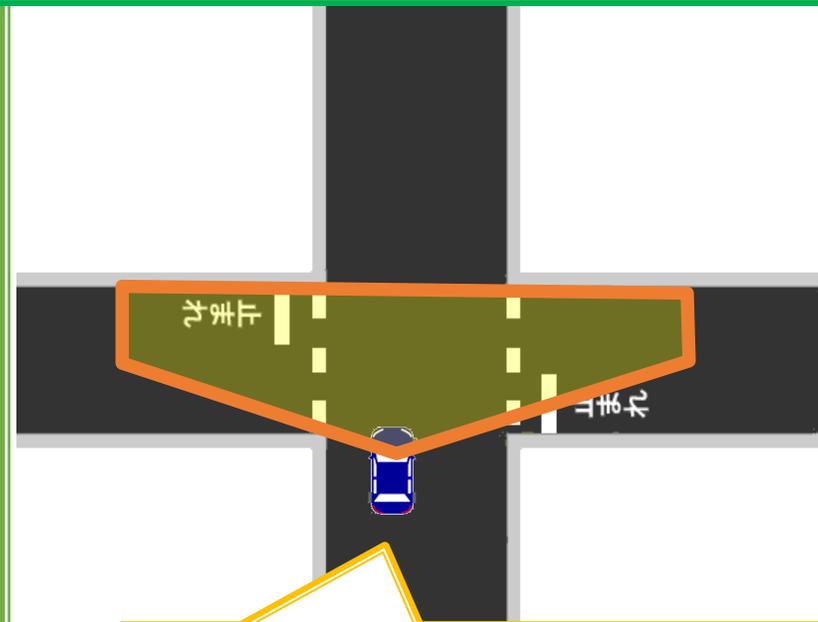
ミラーチェックを習慣化させよう  
ミラーチェックが習慣化されると、  
事故リスクがガクンと軽減します。



# 優先道路の通過スピード

見せる  
説明する

## 優先道路は軽チェック



遠くまで見えなくても大丈夫  
直近の安全だけ確保しましょう

## 優先道路は徐行で通過しよう

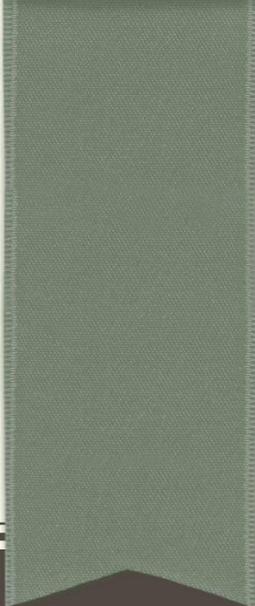
最も危険な行為は優先過信です。

『優先だから』という理由で、飛び出しのケアや減速を行わない車両が、事故リスクを高めています。

## 減速し過ぎも問題アリ

後続車が予測できない減速をしてしまうと、追突事故のリスクが高まってしまいます。

教習で適切なスピード感覚を身に付けましょう。



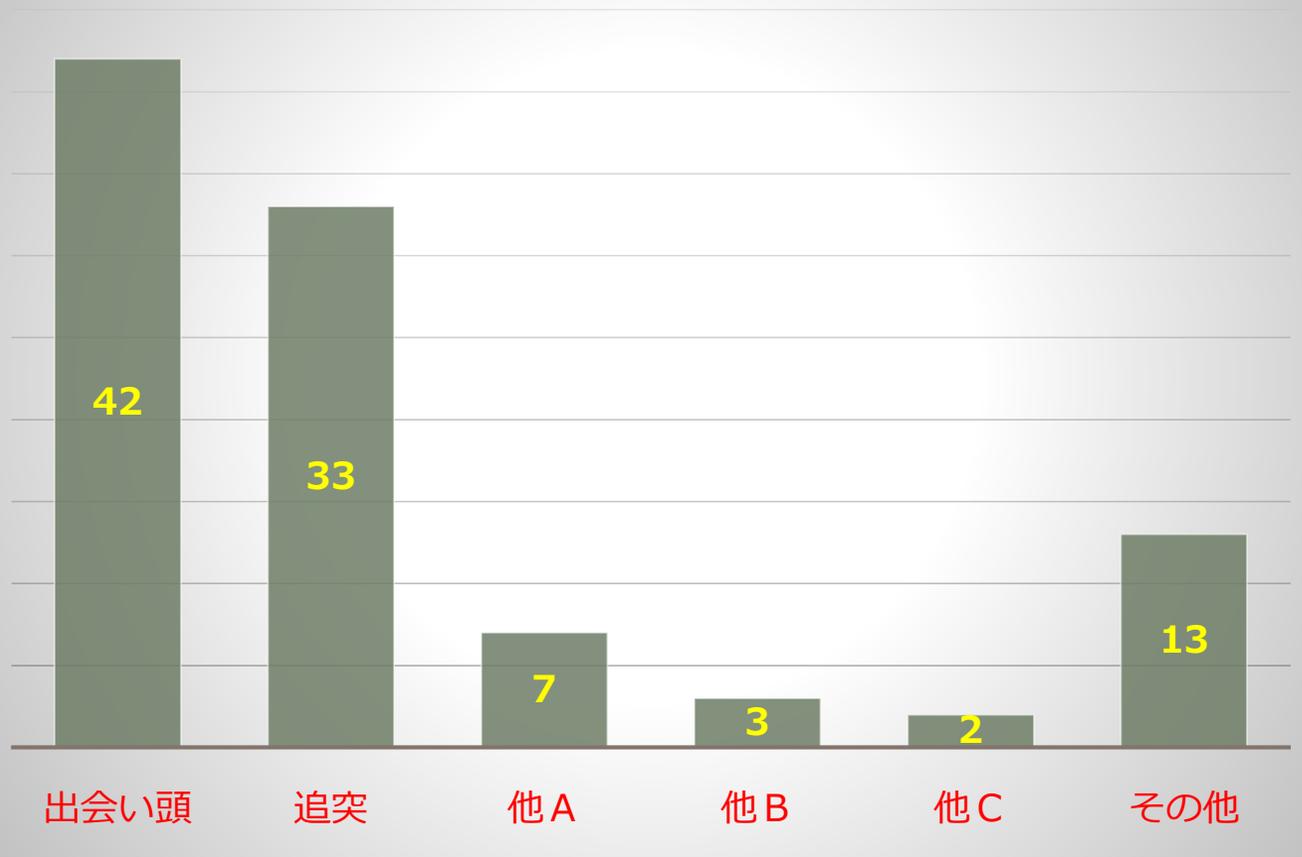
---

# 安全を守るための意識と予測運転

---

## 2 大事故 「出会い頭」と「追突事故」

人身事故における事故種別の割合



「出会い頭事故」 42%

「追突事故」 33%

この二つの事故を防ぐ事が出来れば、事故の確率を大幅に減らす事が出来ます。

追突事故を防止するのは簡単です。車間を空ければ良いだけです。

問題の「出会い頭事故」ですが、これは、予測運転の精度を高め対処していきましょう。

「かもしれない運転」  
が大切です。

復習させる  
適宜使用

# 「優先過信行動」と「かもしれない運転」



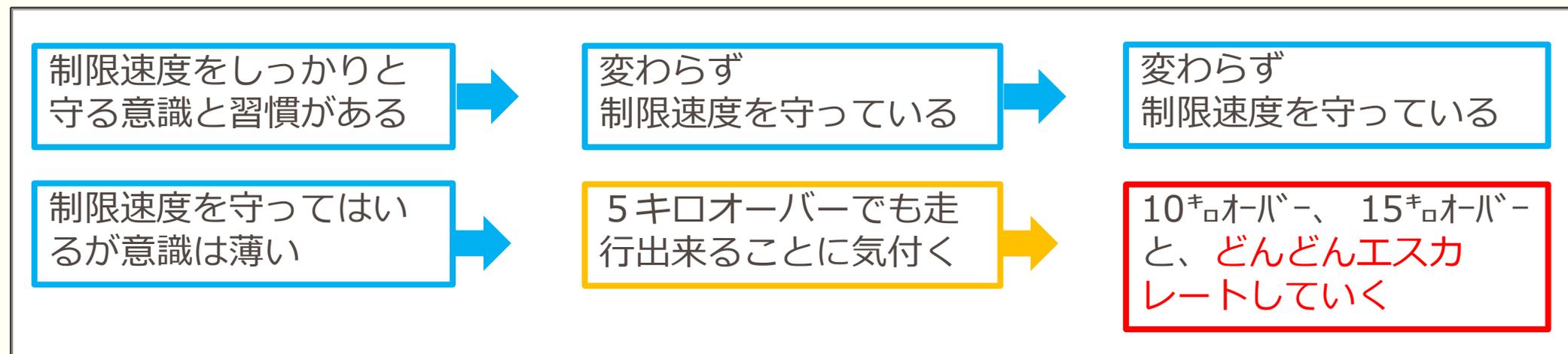
## かもしれない運転

「飛び出してくるかもしれない」  
↓  
「飛び出しに備えておこう」  
↓  
・減速や徐行  
・カーブミラーの確認  
・やや中央寄りを走行する  
(=左側の安全マージンの確保)

## 優先過信行動

「自分が優先」  
↓  
「飛び出して来る方が悪い」  
↓  
・スピード超過  
(確認が取れるギリギリのラインを攻めてしまう)

## 負の成功体験



5キロオーバーでも問題なく運転出来た。

という成功体験を積み重ねてしまうと、それはやがてエスカレートして行きます。  
この現象が「負の成功体験」です。

大切な事は、最初の段階で**正しい行動を習慣化させる事**です。

# 飛び出しの注意の基本形 ～見通しの悪い交差点①～

復習させる  
適宜使用

見通しの悪い交差点

意識①

意識②

飛び出しがあるという前提で走行する事が大切です。  
左側からの飛び出しは、回避するための空間が無いので、特に要注意です。

# 飛び出しの注意の基本形 ～見通しの悪い交差点②～

復習させる  
適宜使用



交差点を示す記号が書かれています。  
オレンジ色のカーブミラーもありますね。  
早い段階で気付けるかがポイントです。



# 飛び出しの注意の基本形 ～見通しの悪い交差点③～

復習させる  
適宜使用



左サイドの白線が、左にカーブしているのが確認できます。

# 飛び出しの注意の基本形 ～横断歩道～

復習させる  
適宜使用



法規上は**一時停止**です。

実際には一時停止を行  
なっている車両は見かけ  
ませんが、危険なシチュ  
エーションである事には  
変わりありません。

**最低でも「最徐行」**で通  
過しましょう。

- ①車の窓越しに確認する
- ②車の足元を確認する

確認を習慣化させよう

# 飛び出しの注意の基本形 ～渋滞の影～

復習させる  
適宜使用



信号待ちや渋滞中の「車の陰からの横断者」も「定番」の注意シチュエーションです。

歩行者の横断は、思いの外多く見受けられ、一定の確率で事故が発生しています。

# 飛び出しの注意の基本形 ～停車車両の影～

復習させる  
適宜使用



車の陰からの飛び出しは  
「定番の中の定番」です。

停車車両の基本的な確認方法  
は下記の2点となります。

- ①車の窓越しに確認する
- ②車の足元を確認する

上記2点を習慣化出来ると、  
安全度はグッと増します。

# 飛び出しの注意の基本形 ～公園等の出入口～

復習させる  
適宜使用



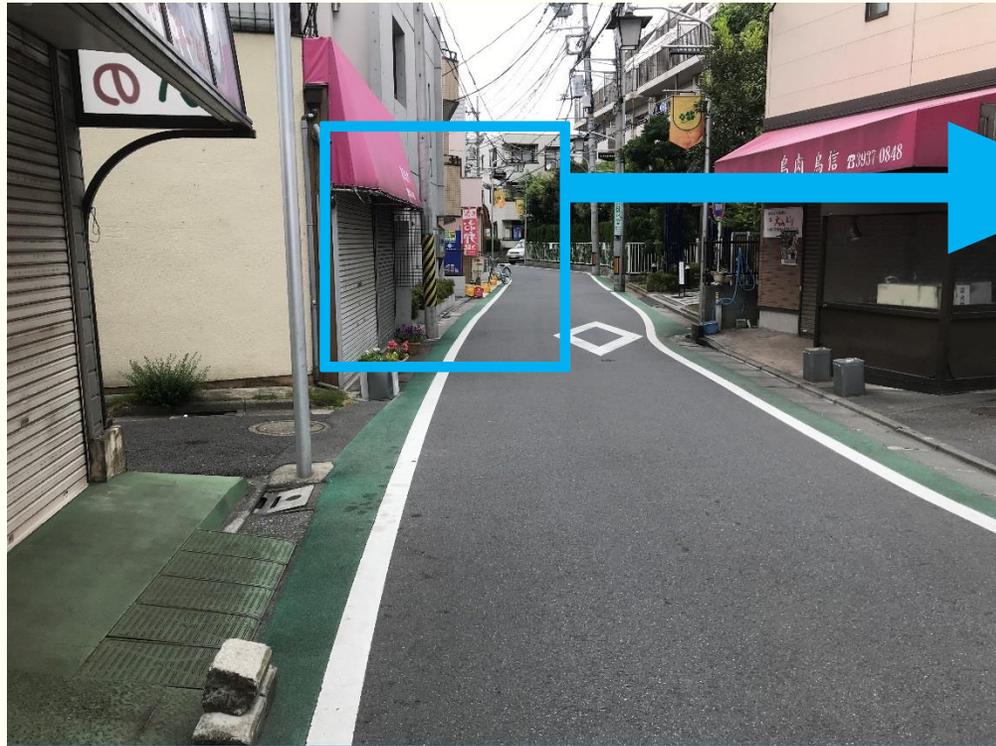
人の気配がありそうな場所の出入口も警戒対象です。



座っている人が確認できました。  
結果としてスピードを落とさずとも、意識をしておく事はとても大切です。

# 飛び出しの注意の基本形 ～お店の出入り口付近～

復習させる  
適宜使用



のぼりが設置されています。お店の気配がありますね。



# 飛び出しの注意の基本形 ～遊歩道～

復習させる  
適宜使用



遊歩道は横断者が多い場所が多々あります。  
十分な減速と確認を行ないましょう。



# 飛び出しの注意の基本形 ～家や駐車場の出入口～

復習させる  
適宜使用



これらのケースでは急に飛び出てくる事は稀ですが、**注意を向ける一要素**として意識の中に取り入れておきましょう。